

## 資料保存の基礎

東京大学 小島浩之

はじめに

### (1) 書誌は語る

TR: 十九世紀末叶帝国主義争奪中国权益史 / 胡濱著

ED:

PUB: \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_ ,

PHYS: 2, 220p; 19cm

PTBL:

NOTE:

### (2) 永遠の命を求める虚しさ

まだ求めますか？ 不老長寿、巧い話は眉唾もの、安物買いの銭失い

### (3) 天道是か非か・・・なぜ資料は残るのか

若至近世、操行不軌、專犯忌諱、而終身逸樂、富厚累世不絶。或擇地而蹈之、時然後出言、行不由徑、非公正不發憤、而遇禍災者、不可勝數也。余甚惑焉、儻所謂天道、是邪非邪。(司馬遷『史記』卷六十一 伯夷列傳)

## 1. 資料保存とは何か

### (1) 図書館情報学における保存の定義

図書館情報学の辞典的な保存(いずれも『図書館情報学用語辞典』第二版より抜粋)

【保存コレクション】・・・図書館コレクションのうち、利用頻度が低くなり、、

【保存書庫】・・・(前略) 利用頻度の高い資料を効率よく提供できるように、利用頻度が減った資料を別置して収納する・・・

【保存図書館】・・・(前略) 図書館蔵書のうち利用頻度が低い資料を別置して収納する・・・

**現行の図書館には歴史資料として後世まで文献を保存することは期待されていない。**

### (2) 資料保存の4原則

原形保存の原則      安全性の原則      可逆性の原則      記録の原則

修復が前提？

### (3) 修復とコンサーベーション

修復をしない選択肢の存在      **The last resort** としての修復

( 木部徹「コンサーバターを目指す人たちへ：どう考え、なにを学ぶべきか」『ネットワーク資料保存』73, 2004

[http://www.hozon.co.jp/If\\_you\\_want\\_to\\_become\\_a\\_conservator.htm](http://www.hozon.co.jp/If_you_want_to_become_a_conservator.htm) )

### 保存ニーズをつかんだ資料保存へ

「現物として残す必要性」、「モノとしての状態」、「利用の頻度」

( 日本図書館協会資料保存委員会編 『目で見る「利用のための資料保存」』日本図書館協会、1998 )

利用の頻度とモノとしての重要性の関係に注意

#### ( 4 ) IFLA 資料保存の原則

1979 年版「図書館における保護と修復の原則」

1986 年版「図書資料の保護と保存の原則」

1998 年版「図書館資料の予防的保存対策の原則」

( 竹内秀樹「『治す』から『防ぐ』へ - IFLA 図書館資料の予防的保存対策」<http://www.hozon.co.jp/cap/con-con/archives/takeuchi2.pdf> )

#### ( 5 ) 国内図書館・文書館の取り組み例 - 状態調査の事例を中心に

実施機関	年	典拠
国立国会図書館 第1次	1983	寺村由比子「国立国会図書館における資料の劣化状況〔調査報告〕」『図書館研究シリーズ』No.24, 1984 「国立国会図書館における資料の劣化状況」『図書館研究シリーズ』No.24, 1984
慶應義塾大学三田情報センター(当時)	1984	奥澤美佐「慶應義塾大学研究・教育情報センターにおける資料の劣化状況調査」『論集・図書館学研究の歩み』第5集, 1985
国立国会図書館 第2次	1985	「<調査報告>書籍の酸性度と劣化」『図書館研究シリーズ』No.26, 1986
早稲田大学図書館	1990	図書館紀要編集委員会編「早稲田大学図書館における所蔵資料劣化度調査報告」『早稲田大学図書館紀要』第32号, 1990
沖縄県公文書館	1995 2003 2004	大湾ゆかり「琉球政府文書群の保存状態調査について」『沖縄県公文書館研究紀要』創刊号, 1998 大湾ゆかり「琉球政府文書保存状態調査の報告」『沖縄県公文書館研究紀要』第9号, 2007 (財)元興寺文化財研究所「琉球政府文書の素材調査報告書」『沖縄県公文書館研究紀要』第9号, 2007
東京都立図書館	1998 1999 2003	東京都立図書館資料保存委員会「都立図書館資料劣化調査報告」『ネットワーク資料保存』第57号, 1999 「都立図書館所蔵資料の劣化調査について(概要)」 <a href="http://www.library.metro.tokyo.jp/15/pdf/15a74.pdf">http://www.library.metro.tokyo.jp/15/pdf/15a74.pdf</a>
国立公文書館	2000 2001	(財)元興寺文化財研究所「国立公文書館所蔵公文書等保存状況等調査 - 調査報告書」『アーカイブズ』第4号, 2000 (財)元興寺文化財研究所「国立公文書館所蔵公文書等保存状況等調査 - 第二次調査報告書」『アーカイブズ』第4号, 2001
東京大学経済学部資料室	2005	東京大学経済学部資料室『蔵書劣化調査報告書』2006 <a href="http://www.lib.e.u-tokyo.ac.jp/shiryo/hozon/hokokusho_01.pdf">http://www.lib.e.u-tokyo.ac.jp/shiryo/hozon/hokokusho_01.pdf</a>

国立国会図書館 和書	2005 2006	Naoko Kobayashi. Preservation and Mass Conservation at the National Diet Library. <i>National Diet Library Newsletter</i> ; 2007 <a href="http://www.ndl.go.jp/en/publication/ndl_newsletter/155/556.html">http://www.ndl.go.jp/en/publication/ndl_newsletter/155/556.html</a> 山口佳奈、小林直子、小谷尚子ほか「国立国会図書館における和図書の劣化調査-図書館資料の劣化とは」『文化財保存修復学会第28回大会研究発表要旨集』, 2006
東京大学東洋文化研究所		栗林久美子・田崎淳子「アジア貴重古籍保全事業への取り組み - 東京大学東洋文化研究所図書室を例にして」『大学図書館研究』No.80

(6) コンサベーションからプリザベーションへ

プリザベーション (Preservation) とは、「図書館・文書館資料およびそれに含まれる情報を保存するための保管・設備の整備、職員の専門性、政策、技術、方法を含むすべての運営面、財政面の考慮」(上記 IFLA 原則 1998 年版)

(日本図書館協会資料保存委員会保存管理チーム「用語の定義：プリザベーション、コンサベーション、修復」2006 <http://www.jla.or.jp/hozon/hozonkanri/teigi.pdf>)

(7) これまでの成果と問題点

酸性紙問題、ビネガーシンドローム問題等に警鐘を鳴らした

劣化問題が媒体だけに特化されてしまった。

伝統的な修復技法の伝授      資料保存 = 修復の意識を植え付けた

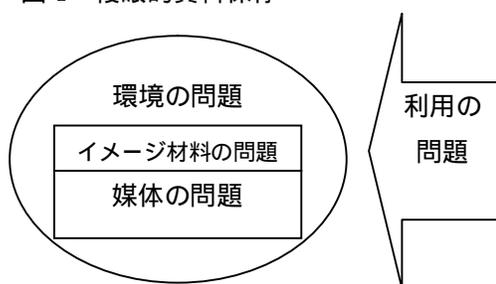
プリザベーションの概念の導入      具体策、方法論が未成熟

保存科学の発展      保存科学、図書館情報学、業界の三すくみ

2. 複眼的視点、戦略的視点の必要性

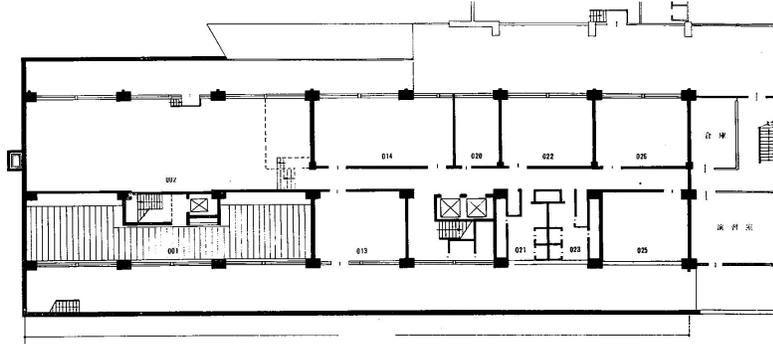
(1) 複眼的資料保存・・・劣化の一つ一つに複合的な要因があるとみて考える

図1 複眼的資料保存

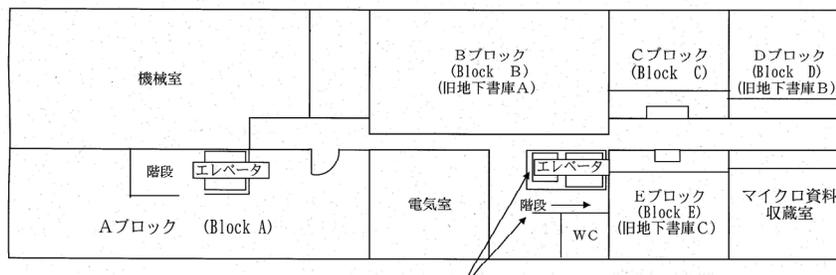


例えば複眼的な視点で見ないとどのようなことが起こるのか？

【例1】 マイクロ収蔵庫の改修がもたらしたもの



上(図2)改修前地下書庫部分、下(図3)改修後地下書庫部分



【例2】マイクロフィルムの保護がもたらしたもの

(2) 戦略的資料保存

戦略とは何か

・ 戦略 (strategy)

「戦術より広範な作成計画。各種の戦闘を総合し、戦争を全局的に運用する方法。転じて、政治社会運動などで、主要な敵とそれに対応すべき味方との配置を定めることをいう。」(『広辞苑』第5版)

長期的、大局的、原則的 意思決定、方向性決定 **プリザベーション**

・ 戦術 (tactic)

「戦闘実行上の方策。一個の戦闘における戦闘力の使用法。一般に戦略に従属。転じて、ある目的を達成するための方法。」(『広辞苑』第5版)

短期的、局地的、例外的 (も許される) 戦略に基づく具体策 **コンサベーション**

経営戦略とは

企業の基本的な長期目標や目的を決定し、これらの諸目標を遂行するために必要な行動のコースを選択し、諸資源を割り当てること

Chandler, A.D.Jr. [1962], *Strategy and Structure*, The MIT Press(日本語訳: 三菱経

済研究所訳『経営戦略と組織』実業之日本社, 1967)

その後、様々な研究者が多くの定義をする

諸研究者の定義の共通項(岸川善光『経営戦略要論』同文館出版, 2006)

- 【1】 経営戦略とは環境対応パターンに関するものである。
- 【2】 経営戦略とは、企業の将来の方向に一定の指針を与える構想である。
- 【3】 経営戦略とは、企業におけるさまざまな意思決定の指針の役割を果たす

では戦略的資料保存とは何か

- 【1】 戦略的資料保存とは、長期的視点をもった資料保存の取り組みである。
- 【2】 戦略的資料保存とは、資料劣化の様々なパターン考慮したものである(複眼的資料保存)
- 【3】 戦略的資料保存とは、図書館の将来の方向性を見据えたものである。
- 【4】 戦略的資料保存とは、行動の意思決定を伴った資料保存である。
- 【5】 資料保存において、プリザベーションは戦略の、コンサベーションは戦術の範疇に入るべきものである。

(3) 戦略の前提にあるもの

戦略、戦術は目的を遂行するために存在するもの 目的・目標の設定と認知

目的・目標、戦略、戦術は相互に裏付けし合った一体関係

学術的な根拠の重要性

3. 東京大学経済学部の実例から

(1) 戦略の前提

自らの組織、蔵書を知ること(東大経済の例で言えば)

東京大学経済学部資料室は如何なる組織であるべきか

近現代資料保存の危機克服 他に所蔵のない資料の豊富さ

歴史史料としての体系的保存

利用のための保存

【参考】資料保存は利用者サービスか?

『図書館情報学用語辞典』第二版(丸善, 2002.8)

図書館サービスにおいて、利用者に直接提供される各種の働きかけ。資料の収集、組織、保存といった機能に基づくテクニカルサービス(間接サービス)と対比して捉えるのが一般的である。すなわち、資料ならびに情報の提供機能を図書館が果たすために行う諸活動が、ここに含まれる。(後略)

『ALA 図書館情報学辞典』(丸山昭二郎ほか監訳、丸善, 1988.9)

図書館員と図書館利用者が直接に出会う図書館活動や業務を言う。貸出サービス、情報サービス、複写サービス、その他の類似の性格をもつ活動や業務を含む。(後略)

( 2 ) 長期的視点

対処療法と根治療法  
人材育成の必要性

( 3 ) 将来の方向性

何を保存するのか  
何ができるのか  
どこまでできるのか

( 4 ) 行動の意思決定

場合分けと優先順位  
予防、**検査、診断、治療**

4. 検査・診断・治療の実例から - 蔵書劣化調査

( 1 ) 検査

<特徴>

- ・蔵書の劣化状況の現状を数値的に明らかにし、何をどのレベルまで保存し、そのためにはどのような対策を講じるべきかを明らかにした。
- ・利用されることで動く構造物としての状態調査を日本で最初に導入(国立国会図書館遠隔研修「資料保存の基本的な考え方」)

<ポイント>

- 【 1 】 対象範囲の確定・・・所蔵資料への理解の必要性
- 【 2 】 調査方法の確定・・・悉皆(全数)調査かサンプリング調査か  
サンプリング調査 Drott, C. M. March 1969. Random Sampling : a Tool for Library Research. *College & Research Libraries* : p.119-125.  
日本語抄訳 : [http://www.hozon.co.jp/random\\_sampling.htm](http://www.hozon.co.jp/random_sampling.htm)
- 【 3 】 調査項目の確定
- 【 4 】 調査結果の分析
- 【 5 】 調査報告書の公表

表1 東京大学経済学部資料室蔵書劣化調査内容

調査内容	主たる調査項目等
No.	資料ID
請求番号	分類番号
表題ほか	タイトル、巻号など
出版年	合冊など複数年にまたがるものは最古号の出版年を記入
頁数	概算で記入
製本形態	製本形態と綴じ方について13種類に分類
製本状態	表紙の破損の有無について良、難軽、難重の三段階で評価
見開き性	資料の見開き性について良、難軽、難重の三段階で評価
本体劣化状態	料紙の劣化状態について官能法により4段階で評価
pH	pHチェックペンの変色具合により3段階で評価
附属資料の有無	附属物の有無を8種類に分類
イメージ材料	記録方法（手書、印刷、コピーなど）についてその種類を記録

(2) 診断

紙力が good かつ weak の資料を脱酸処理 脱酸による最大の効果が期待できる。

Brittle, very brittle の資料を代替化

処置すべき資料は何かを判断しその資料にとって最も有効な方法を考える

対策方法の選定・・・最大の効率を上げられる方法とは？

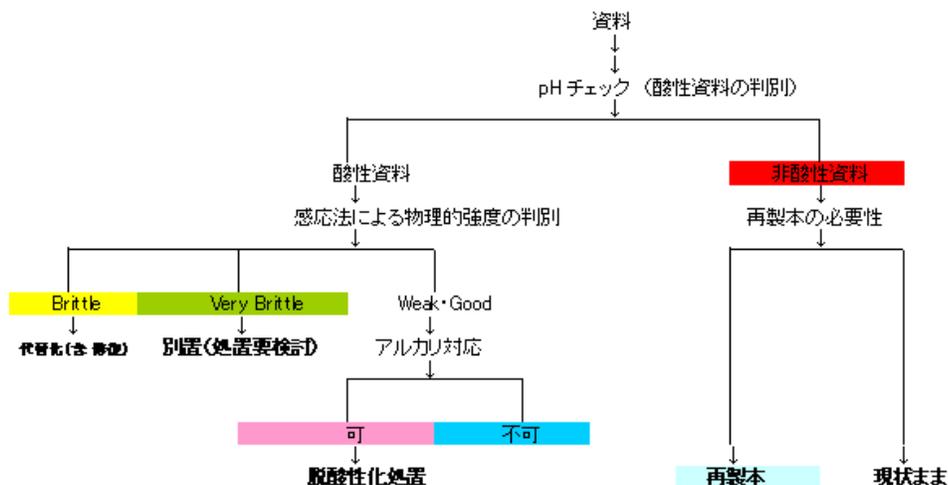


図4 資料保存手当てのための選別フローチャート

(3) 治療

できることは何かを考え最大限の効果を上げる処置を行う。

時間と頭は使いよう

技術を磨く 講習会に出席するだけでは無意味  
いつもモノをよく見ておく  
少しの工夫で大きな効果

#### まとめ

図書館員は資料のホームドクターである  
資料保存とは文化を保存し後生に伝える歴史的業務である  
図書館の強みはモノを持っていることにある  
学術的な手続きと情報公開の重要性

付記: 東京大学経済学部における資料保存のとりくみは次の Web サイトで全て公開しています。<http://www.lib.e.u-tokyo.ac.jp/shiryo/hozon/top.html>